



2日間にわたって開催されたルカ主宰講習会の第1日目を体験レポート

# エキスパート・コンベンション・東京2016

●日程：平成 28 年 6 月 25 日（土）、26 日（日） ●会場：スタジオ iDC（Izumikubo ダンス・カンパニー） ●取材・文：高橋樹朗 ●写真：澤田博之

## エキスパート・コンベンションとは

ルカが主宰する「バリッキ・インスティテュート・オブ・ムーブメント」を基に、ダンスの真髄を脳と身体へ浸透させ、さまざまな角度から本物のダンスを構築していくことを目的とした講習会。

## 第1日目・コンベンションスケジュール

1 時限目 10:00～10:40 (40分)

ベーシックルーティーンの講習、練習  
講師：元世界スタンダードチャンピオン  
ルカ・バリッキ

2 時限目 10:45～12:15 (90分)

ワークショップ  
「動力と調和して快適に動く  
体幹運動システム（体幹内操法）」  
～カウンターローテーションを伝授～  
講師：栢野忠夫

ランチタイム 12:15～13:45 (90分)

3 時限目 13:45～15:15 (90分)

ワークショップ  
「生体力学からの3つの面の成り立ちと  
役割・3つのバランス」  
～栢野氏の講習を基に体幹内操法を  
ベーシックステップの中で活用してみる～  
講師：ルカ・バリッキ

Break 15:15～15:25 (10分)

4 時限目 15:25～16:25 (60分)

練習  
ワークショップの教えを基に、  
ベーシックルーティーンを練習する  
監修：ルカ・バリッキ

5 時限目 16:25～17:25 (60分)

ソロ・パフォーマンス  
練習したものをソロでデモンストレーション



▲左から家泉朋美先生、中井理恵先生、栢野氏、ルカ氏、中井信一先生

▶“栢野”理論を具現化するアイデア器具の新作も登場



●主宰：ルカ・バリッキ氏  
元世界スタンダードチャンピオン。WDSF  
ダンススポーツアカデミー相談役

▲元世界スタンダードチャンピオンのルカ・バリッキ氏が直接指導



◀ルカ・バリッキ氏による貴重な直接指導を満喫した参加者たち

●特別講師：栢野忠夫氏  
（かやの・ただお）  
骨格構造に主眼を置いた独自の身体操作法「体幹内操法」を創始。TriMind 代表

▶家泉朋美先生も通訳兼パートナーとしてルカのレクチャーをサポート



揺るぎない理論と実践を基に  
ボールルームダンスを深層体験！

池袋のスタジオ iDC にて行われたルカ・バリッキ氏の講習会には、プロ・アマを問わず多くのダンサーが期待に胸をふくらませて集まった。ルカ氏の講義は、まず「社交ダンスの発祥」からスタート。ダンスに対する“なぜ”を1つひとつ丁寧に解き明かし、やがてその真髄へと話を進めていった。

そして彼自身が今も練習に取り入れているスローフォックストロットのベーシックルーティーンをベースに、足型だけでは決して到達できない“未踏の世界”へとダンサーたちを導いていった。

第1日目の特別講師には『体幹内操法』の創始者・栢野忠夫氏を迎えた。氏の提唱する理論を「まずはダンスと結びつけないで身体で感じてほしい」とルカ氏。栢野氏の講義では、骨格構造に対する理解とともに、我々が「いかに身体を動かしていないか」を体験。さらにルカ氏の実践的なレクチャーを受け、参加者は頭と身体をフル活用させられた。「日本人ダンサーにとってはかけがえのない貴重な時間。直接（レクチャーを）受けることが最も大事」と家泉朋美先生。参加者たちはその言葉の真意を、身を持って体感していた。

